



2025 年度

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

2月 保育園だより

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

まもなく暦の上では立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きそうです。

今年度も残り2か月を切りました。少しずつ、新年度の準備が始まっています。特に5歳児は、ランドセルや勉強、スポーツ等、小学校に関する話題に花が咲き、期待で胸を膨らませながら日々を過ごしています。

一人ひとりが、これまでの園生活で得た力を十分に発揮し、生活や遊びに自信をもって行動できるよう、一日一日を大切に過ごしています。



今月の行事予定



2(月)	フレンズタイム 交通指導	25(水)	※感謝の集い 3園合同研修会 18:00～
3(火)	節分の集い	26(木)	シニアサロン
4(水)	5歳児 桜井小学校学校見学会	27(金)	随時布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
6(金)	臨時 3園合同研修会 18:00～		
9(月)	フレンズタイム		
11(水)	🇯🇵 建国記念の日		
12(木)	イングリッシュタイム 10:30～ ブライアン先生・りえ先生(4.5歳児)		
16(月)	フレンズタイム 身体測定 (至20日)		
17(火)	交通指導	3(火)	ひなまつりの集い
20(金)	避難訓練	5(木)	5歳児 お茶会
23(月)	🇯🇵 天皇誕生日	7(土)	保護者会総会
24(火)	フレンズタイム	12(木)	5歳児 イングリッシュタイム参観
25(水)	5歳児 中央小学校学校見学会 命ありがとう パパ・ママディ 10:45～	18(水)	命ありがとう パパ・ママディ 3月のみ、変更となっています。
	当月の誕生日をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。 ※中央小学校学校見学会の為、今月のみ 15分遅らせ 10:45から行います。	23(月)	同窓会 12歳のつどい
		30(月)	黒部愛児保育園 第51期生修了式

0歳児 ひよこ組担当 川上 保育士が産休入りいたしました



保育・教育

子どもの何気ない言動には、大人が思いつかないような気付きや、思わず笑みがこぼれる微笑ましい姿があります。今回は、心が温まる子どもの世界を紹介します。



0歳児 ひよこ組

大好きな“一本橋ちょちょちょ”を楽しんでいると、Aちゃんがボポちゃん人形の足の裏や体をちょちょちょとして遊ぶ姿がありました。また、それを見たBちゃん、Cちゃんも真似をして、人形にちょちょちょ。また、友達が泣いていると「なでなで」と頭をなでてあげたり、おもちゃを持ってきてくれたりする優しい姿も育っています。今まで自分がしてもらった経験、楽しかった経験が日頃の遊びに繋がり、再現を楽しんでいるようです。子ども達は大人や周りの子ども達の姿をよく見て、真似て学んでいます。一緒に成長を見守っていきましょう。



1歳児 りす組

絵本「ばんそうこうぺったんこ」の読み聞かせをしました。それから、友達がぶつけたり、転んだりすると、「だいじょうぶ?」「いたい?」「いたいのいたいのとんでいけえ!」と、痛かったところを優しく撫でながら魔法の言葉をかけています。そして、「はい、ぺったん」と、カットバンを貼る真似をします。痛くて、涙していた子も笑顔になりました。また、泣いている友達を見るとティッシュで涙を拭いたり、「だいじょうぶよ」と抱きしめたりするなど、友達を思いやる姿が見られます。これからも一人ひとりの思いを受け止め、友達を思いやる気持ちを言葉で誉めながら関わっていきます。



2歳児 うさぎ組

日々の生活経験をもとにお風呂屋さんごっこを楽しんでいます。「熱くない?」と湯加減を聞いたり「シャンプーつけるよ」「目、瞑って」など保育者や友達とのやりとりが始まります。お風呂の場면을イメージしながら「先生、タオルとかシャンプー欲しいな。ドライヤーも」という要求に合わせて一緒に準備していきます。そうすることで生活経験を再現し、遊びが発展していきます。「はい、パンツはいてパジャマ着よう」「自分でやってみるよ」「頭、乾かすよ」「見ててね」など身の回りの関心も広がっています。



3歳児 いぬ組

自分達で紙やクレヨンを使い、描いたり作ったりすることが楽しい子ども達。今までは、自分の為に作ったり、保育者に作ってもらっていたのですが、近頃は「Aちゃんの顔かいたん」「Bくん紙飛行機作ってあげたん」と友達に描いてあげたり、作ってあげることも増えてきました。ひよこ組の子ども達が4人乗りベビーカーに乗って遊びに来た際には、「Cちゃんと、Cちゃんママ描いてあげたよ」「Dくんに僕と一緒にプレスレット作ってあげた」「ケンカしないでね」と優しい声で伝え渡してあげる姿もあります。誰かに与えてもらうばかりでなく、“誰かの為に”という思いやりの心が育っています。



4歳児 くま組

新年が明けると、らいおん組さんが年賀状ごっこを始めました。その年賀状がくま組の子ども達宛てにも届き、「わあ～、〇〇ちゃんが私に書いてくれた!」「僕の好きな〇〇の絵が描いてある!」等と喜んでいきます。それぞれの年賀状には、らいおん組さんの温かい思いが込められています。“〇〇のキャラクターが好きなはず”“これを描いたら喜びかも”という、自分達に心を向けてくれる思いやり、優しさを受け取っています。らいおん組さんと一緒に過ごせるのも残り2か月です。保育園という社会だからこそできる遊びや経験を通じて、進級への憧れや期待感が膨らむことを願っています。



5歳児 らいおん組

ある日の出来事です。Aさんが「Bさん、今日一緒にご飯たべよう」と誘うとBさんは「いいよ」と答えました。2人はその後、それぞれ食事の準備を始めました。その時、Cさんが「Bさん、今日一緒にご飯食べよう」と言いました。するとBさんは「いいよ」と答えました。準備が終わり座ろうとした時、Aさんは、BさんとCさんが一緒に座っているのを見て「Bさん一緒に食べるって約束したのに…」と今にも泣きそうです。Bさんは“あっ、しまった”という表情です。しばらく考えて、AさんはBさんに「じゃあ、明日一緒に食べてね」と友達の気持ちを理解し我慢をして譲ってあげました。Aさんは、相手の気持ちに気づき、折り合いをつけていました。このようなトラブルは5歳児の育ちにとっても大切なことです。社会的スキルを身につけ将来の人間関係を形成する上で必要な経験と捉えて援助をしています。